

- 1/あいさつする細田会長
- 2/写真を映し出して全国B-1での奮闘を報告
- 3/土俵入りに大盛り上がり

後援会員に久慈まめぶ部屋のメンバーを一人一人紹介

久慈まめぶ部屋後援会」設立総会



まめぶ発信に力 後援会が発足

まめぶ発信に力 後援会が発足

頑張りに応え一緒に

平成22年4月の発足以降、精神的な活動を展開し、23年11月には第6回全国B-1グランプリで全国に久慈市とまめぶ汁をPRした久慈まめぶ部屋（小笠原巨樹部屋頭）奮闘する同部屋を支援しようと、12月18日、「久慈まめぶ部屋後援会」が発足しました。同日、市内催事場で開かれた設立総会には約50人が出席。はじめに、発起人を代表して市観光物産協会の細田稔男会長が「まめぶ部屋の活動によるPR、経済効果は相当大きいと考えています。この頑張りに応え、さらに高みを目指して皆さんと一緒に応援していければと思います」と、あいさつ。議事では、活動内容などを定める会則が異議なく

支えを力に全国発信

総会後は会場を移し、同部屋の全国B-1報告会と、同部屋メンバーを交えての懇親会を開催。懇親会では、メンバーが感謝を込めて相撲甚句や土俵入りを披露して盛り上げ、後援会員は「活動を続け、全国に発信していこう」、「上を目指し共に頑張りよう」など、熱い言葉で激励しました。小笠原部屋頭は「後援会設立は信じられない思いです。皆さんの思いを受け、一緒に頑張っていききたいと思えます」と決意を新たにしています。支えは力。久慈市の全国発信に向け、まめぶ部屋をみんなで応援していきましょう！

後援会 会員を募集中!!

久慈まめぶ部屋の活動支援を通じて久慈市の活性化を目指す「久慈まめぶ部屋後援会」。同後援会では随時、入会を受け付けています！

久慈市を元気にしたいという熱い思

いで奮闘するまめぶ部屋。「応援したい！」とお考えの方は、まずは事務局まで気軽にお問い合わせください。

- ▶年会費…①個人会員 5千円
- ②法人・団体会員 1万円

事務局・久慈市観光物産協会
☎ 66 - 9200



部屋マスコットキャラクター

- 1/受け付けなど高校生も活動
- 2/パネルディスカッション
- 3/北リアスみちづくり女性の会・大槻静子会長が決議を宣言

大会決議後、「ガンパロー」の声に合わせ、拳を突き上げる参加者



道路完成に向け 沿岸が団結!

1200人完成訴え

八戸市と仙台市を結ぶ高規格道路「三陸沿岸道路」の早期完成を訴えるリアス・ハイウェイ早期実現久慈大会と八戸・久慈自動車道整備促進住民大会は12月4日、アンバーホールで開催。八戸市から気仙沼市までの7市の市長や市民など、沿岸市町村から約1200人が参加しました。

これからも力合わせ

国では三陸沿岸道路を、重点的に整備する復興道路に位置づけ、一部整備を開始。被災地間の連携を促し、早期復興に向けて、7年程度での全線開通を目指しています。一日も早い復興と、道路の完成に向けて、これからも力を合わせていきましょう。

沿岸7市長 復興へ思い一つ

沿岸7市長はパネルディスカッションで、復興に懸ける決意や現在の課題などを発言。7市の復興に懸ける思いは一つ。三陸沿岸はこれからも団結して前に進みます。



気仙沼市 菅原 茂 市長
陸前高田市 戸羽 太 市長
大船渡市 戸田公明 市長
釜石市 野田武則 市長
宮古市 山本正徳 市長
久慈市 山内隆文 市長
八戸市 小林 眞 市長